枝 片 葉 其四十

ナ 7 ኢ ホ タ ナ ィ 師 Æ 範 ハ 出 ヲ ŀ 服 來 ٤ 部 D ッ ナ テ 先 Ł イ 生 居 7 力 シ ŀ 言 夕 **≥**⁄ 御葉 , タ ッ デ テ つき **୬**∕ 御 力 銀 葉 シ 其 杏 0 村 É VC 產 j 0 v 友 實 v τ کم τ 人 物 ガ ヲ 採 ŀ ガ 見 出 集 云 セ フ 來 **≥** テ n **≥**⁄ 事. プ 私 Ø IJ = ガ 確 ン ク 尼 ŀ 力 V 3 デ Ø L ヲ 7 7 ハ 作 IJ Æ ッ 7 此 ~ テ ŋ ス 1 師 V 私 範 τ Æ ኢ 牛 ソ = 徒 1 ソ H ン = ナ 配 葉 ッ Z) テ = 72 以 花 D 上 1 ナ 跡 ン 力 ッ 出

枝 葉 (其四 + 九

產

地

ヲ

調

ラ

シ

Þ

ガ

以上

三ケ

所

1

外

ハ

何

處

=

æ

無

力

ッ

タ

ŀ

言

ッ

テ

ラ

タ

野 富 太 鶃

牧

、丈な、 彩 ŋ 國 海 Œ 長 y 濱 放 大 몳 ク = ガ 產 7 = **≥**⁄ テ ŀ ス w フ オ , ヂ ラ 彼 京 文 ナ 1 都 ン ガ 飯 デ ダ 1 附 本 ナ シ 沼 = デ 草 **≥**⁄ テ 1 齌 大 7 如 3 家 n " Щ 花 如 草 本 明 ノ ŋ 木 治 形 莖 圖 羊 色 粗 說 八 年 亦 7 調 棄 相 卷 製 田 似 色 セ 中 石 テ w ·劳男、 稍 竹 = 寫 大 , 此 4 如 = 圖 小 外 ŋ ŀ 物 夢 野 形 其 集 三職年 奖 名 石 ŀ 慤 銳 竹 稱 思 , 莖 3 ハ 新 = IJ ヲ n 訂 紫 稍其 ` 色 闊 版 7 卽 ヲ シ ` 帶 移 未 チ テ 長 ブ 刊 シ 新 產 テ ク 之 訂 地 = 縦 草 不 V 詳 ヲ 木 道 丈 載 な 圖 或 7 說 云 IJ セ で 梢 八 = 丈 Ŀ ح 島 屯 分 ŀ 尙 叉

今此 不案 內 國 之 ヲ 海 時 濱 代 3 = 產 全 ヤ 1 ~ ス ナ 3 1 デ ŀ 7 加 シ 減 コ レ F., ŀ 想 改 Æ 像 蓋 稱 力 シ 是 ラ タ , IJ V 名 誤 傳 デ ŀ γ 補 出 Ÿ 記 ヅ タ **୬**⁄ 從 テ ŀ 置 斷 テ 之 1 ヲ ス Þ 如 ク 丈 之 テ ガ デ

ヲ

ス 信 此

ŋ 並

本

=

或云

云

東 ヲ 訂 L

文 海

道

=

自

生

シ

夏時 丈島

花

開

ク シ ŀ

花

瓣 名

紅.

紫

=

୬

テ

頗

N

美

ナ

n

ヲ以

テ

培養

セ ヲ 說

バ

觀 且. 至

ナ

な

で ス 値

ح

ŀ

稱

ス

n

٠,

交通

不

便 ヲ

事

稱 價

n 7

其名

實

和

副

ハ

ザ

n

Û 萬

テ 叉 =

州 舊 本

州

名

ヲ

廢

≥

テ

之レ 北

ヲ

みや ヲ

すな ちじ

で

حَ な

ŀ で

正

其學

Dianthus 色

shinanensis

Makino.

充

テ

ッ テ

本

種 ŀ

1

名

ヲ

存

≥⁄

テ之

v

は

ø

う

ح

シ

テ

ァ

N

明

治

四

十

版

1

增

訂

草

木

圖

=

私

ハ

斷

然

•

ふすまノ名ハ往時山本亡羊等ノ稱シテ居ッタモノデ正ニ其種ヲ指シタモノデアル又ひめたがそでノ名モアル、 おほやまふすまト稱スレドモ是レハ非デアルカラ此品ハ宜シクみやまふすまト改稱スベキモノデアル此みやま ノ見デアル おほやまふすまノ名ハ飯沼愁齋ノ『草木圖說』卷ノ八ニ圖說ガアルガ其レハ確ニみしなぐさ屬 (Cerastium) ノ 種デアル、私ハ之レヲたかねみヽなぐさ (C. alpinum L.)ノ一品デハナイカト考へテ見タコトモアッテ曩ニ 須ラクみやまふすまノ名ヲ用フベシ 今日なでして科ノ Moehringia lateriflora Fenzl. ●草木ノ新和名 Cotoneaster

scrrata Hort.) ゆきふりばな(きく科)◎Musa Ensete GMEL あふりかばせう(ばせう科)◎Chamaeropus humilis すぎ(まつ科)◎Cedrus libani Loup. ればのんすぎ(まつ科)◎Pseudotsuga taxifolia Britt. (P. Douglasii Carr.) caria imbricata Pav.=A. araucana KocH. よろひすぎ(まつ科)◎Araucaria braziliana A. RicH. ふさなんやう あめりかばす、きばなばす(ひつじぐさ科)◎Cordyline indivisa Kunrn.あつばせんねんらん(ゆり科)◎Arau-L. ひめしゅろ(やし科)◎Washintonia filifera Wendr. あめりかびらう(やし科)◎Nelumbium luteum Willd japonica Thunb. var. aureo-reticulata Nichols. 黄金にんどう、金紋にんどう、金紋すひかづら(すひかづら科) nensis R. Br.×A. uniflora R. Br.) はなぞのつくばねうつぎ、にはつくばねうつぎ(すひかづら科)◎Lonicera microphylla Wall. こゞめしゃりんたう、ひめしゃりんたう(いばら科)◎Abelia grandiflora Rehd. (A chi あめりかとがさはら(まつ科)◎Taxus baccata L. せいやういちゐ(いちゐ科)◎Polygala ambigua Nurr. はり 如ク咲き流レラ居ル見立カラノ名(大坂天王寺公園ノ宮南裕君命名)(脣形科)◎Piqueria trinervia Cav. (Stevia (Moschosma riparium Hocust.) ふぶさばな、吹雪花ノ意デ其軟ラカ味ヲ帶ビタ細白花ノ群レテ、降ル粉雪ノ 『草木圖說』ヲ增訂スル時其由ヲ其書中へ委曲書イテ置イタ事ガアッタ おほたにわたり(うらぼし科)◎Anemone coronaria L. ひなぼたん(うまのあしがた科)◎Ibaza riparia N. E. Br. ◎Euphorbia marginata Pursh. ふくりんたいげき、みねのゆき(たかとうだい科)◎Asplenium Nidus L. しま

floridanus L. あかばならふばい(らふばい科)◎Catalpa Bungei C. A. Mex. しなきささげ(のうぜんかづら科) ZJ 、ひめはぎ科) せいやうびゃくしん(まつ科) ◎Acer rubrum L. あめりかはなかへで(かへで科) ◎ Calycanthus 元來北米ノ 原産、 下總 三野 生ノ狀態トナル、今井仁、與 世里盛春兩氏採◎Juniperus

sempervirens L.Planch しなさるなし(またたび科) 獼猴桃ハ蓋シ此種ヲ指シタモノト思ハル◎Cobaea scandens Cav. こぼか Lindi.. あをぢくれんげう (ひらぎ科)◎Salix Caprea L. やぎやなぎ (山羊やなぎノ意) (やなぎ科)◎Buxus ◎Exochorda racemosa Rehd. (E. grandiflora Lindl.) ばらくゃしもつけ(らばら科)◎Forsythia viridissima せいやうつげ(つげ科)◎Ilex Aquifolium L. ひひらぎもち(もちのき科)◎Actinidia chinensis

ら(はなしのぶ科)◎Hedera Helix L. せいやうきづた(うこぎ科)◎Nertera depressa Banks er Soland. たま

つづり(あかね科)◎Arundo Donax L. せいやうだんちく var. versicolor Kunth.おきなだんちく、ふいりの

名ヲ用 ノニやはずあざみ (Carduus crispus L.) ガアル此品ニハひれあざみノ佳名ガアルカラやはずあざみヲ避ケテ此 來タモノデアル ニきつねのまご科ノ Thunbergia alata Bojer. ガアッテ松村任三博士ハ之レヲやはずかづらト和稱シ し科)◎Iris germanica L. どいつあやめ(あやめ科)、以上列擧シタ中ニハ或ハ前人ノ旣ニ命名シタモノガアリ せいやうだんちく(禾木科)◎Nephrolepis exaltata Schorr var. bostoniensis Davenport. ぼすとんしだ(うらぼ デアル ●實ヲ表ハサヌやはずかずらノ名 熱帯アフリカノ原産デ我邦へハ明治初年頃ニ渡ッタ蔓草セヌカト思フガ若シアッタ場合ニハ其名ヲ用ヰルコトトシ私ノ付ケタ右等ノモノヲ其レノ一名トスレバヨイ ハ宜シクやばねかづらト改稱スベキデアル、何トナレバ此名ハ元來其種名ノ alata (有翼或ハ翼狀ノ意)カラ ウルコトニスレバ無難デアル、 カラやはず(矢筈)デナクやばね(矢羽)デアラネバナラナイカラデアル、之レト揆ヲーニシ 其レ故同屬ノ C. cernuus Steud. ハがんくびやはずあざみノ名ヲ避ヶテ タガ此和 タモ

んくびひれあざみト改ムレバ可